

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94700	市内遺跡発掘調査事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費	個別分野	5	歴史文化	実施計画事業	市内遺跡発掘調査事業	
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	施策の概要	1	文化財などの保存・継承	H29実施計画額	3,000 千円	
			2355	目	7	文化財費						

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・埋蔵文化財を保護し次代に伝える	概要	事業の実施手法(手段)	・開発事業により影響を受ける埋蔵文化財を記録保存する ・保存活用の必要な遺跡の内容を確認する
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績		・堂幅遺跡、大木屋遺跡試掘確認調査、広瀬城跡現況測量、図面・遺物整理								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		埋蔵文化財対応件数		件	目標値	15	15	15	15	15
		算出根拠等		埋蔵文化財発掘の届出、通知数	実績値	14	-	-	-	-
		達成率(%)			93	-	-	-	-	-
		現地調査・指導件数		件	目標値	3	3	3	3	3
		算出根拠等			実績値	3	-	-	-	-
	成果指標	達成率(%)			100	-	-	-	-	
		目標値								
		実績値				-	-	-	-	
		達成率(%)				-	-	-	-	
		目標値								
		実績値				-	-	-	-	
達成率(%)				-	-	-	-			
算出根拠等										
目標値										
実績値				-	-	-	-			
達成率(%)				-	-	-	-			
算出根拠等										
目標値										
実績値				-	-	-	-			
達成率(%)				-	-	-	-			

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・試掘調査などの効率的な実施。県補助金の復活によるコスト削減。 ・指定遺跡の歴史的価値の周知等により、市民の保護意識の向上を促す。
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・業務の委託化などによる効率的な事業実施に取り組んでいる。	
次年度の担当課の考え	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	
	<input type="radio"/> 拡大	・開発に対応するため、継続して事業を行う。
	<input type="radio"/> 縮小	・国史跡への指定に向け、調査成果を踏まえた検討を行う。
	<input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 2,776	3,240	3,300	3,203
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 30	36	37	35
	受益者	市民(4月1日現在)	(B) 91,605	90,938	90,024

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・市内にある埋蔵文化財の発掘調査 ・開発事業に伴う試掘確認及び範囲確認調査	要求のポイント	・開発事業などに対応するための緊急目的の発掘調査 ・国の指導等による広瀬城跡等の内容確認調査	事業実施の課題	・国の史跡指定に向けて、必要な図面等を作成するとともに専門家の指導を受ける。
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,300	3,203	△ 97	2,940	2,940	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	1,650	1,601	△ 49	1,470	1,470		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,650	1,602	△ 48	1,470	1,470		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94710	歴史資料購入事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費	個別分野	5	歴史文化	実施計画事業	歴史資料購入事業	
担当課		教育委員会事務局 文化財課	内線	項	4	社会教育費	施策の概要	1	文化財などの保存・継承	H29実施計画額	1,000 千円	
			2977	目	7	文化財費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・郷土に関わる歴史資料の流失、散逸を防ぐとともに、市民の郷土学習に役立てる	概要	事業の実施手法(手段)	・郷土に関わる歴史資料を購入する
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・郷土に関わる歴史資料の購入								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		資料購入件数		件	目標値	1	5	5	5	5
		実績値			1	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-
		目標値								
		実績値								
	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-	
	成果指標	流失、散逸を防いだ件数		件	目標値	1	5	5	5	5
		実績値			1	-	-	-	-	
		算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-
		目標値								
		実績値								
算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-		

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・郷土の文化財などの保存・継承のため、更なる郷土の歴史資料の保存、活用を図る必要がある。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・収蔵品展等を行い、広く市民に公開、周知する。 ・購入書籍などのデータベース化と、館内システムでの検索を行い、利用者への周知と閲覧しやすい環境づくりに努める。	
次年度の担当課の考え	○維持・改善	
	拡大	・継続的に郷土の歴史資料の購入を進める。 ・飛騨高山まちの博物館などの教育施設での展示を通じて、市民への公開を実施する。
	縮小	・学校などへ、資料の活用などの情報提供を行う。
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 3,000	27,493	1,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 33	302	11	11
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・郷土に関わる歴史資料(文人・画人の作品、古文書、伝j等工芸品、民俗資料、図書資料等)の購入	要求のポイント	・郷土の歴史資料の流出、散逸の防止及び市民の郷土学習のため	事業実施の課題	・貴重な歴史資料には高額なものが多いため、文化財等公有振興基金の計画的な運用が必要
------	--	---------	-------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	1,000	0	1,000	1,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	1,000	0	1,000	1,000		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94720	文化財保護事業費	予算	会計	1 一般会計	基本分野	3 教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9 教育費	個別分野	5 歴史文化	実施計画事業	文化財保護事業	
担当課		教育委員会事務局 文化財課	内線	項	4 社会教育費	施策の概要	1 文化財などの保存・継承	H29実施計画額	8,700 千円	
			2356	目	7 文化財費					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、文化財保存団体	どうしたいのか(意図)	・地域で文化財を保存活用する活動を支援し、文化財の保存を図る ・文化財保護行政の円滑な執行	概要	事業の実施手法(手段)	・文化財保存団体に対する補助 ・史跡や伝承芸能の保存を行っている団体の運営・活動経費にあてるため必要な補助を行う ・文化財関係の協議会等への参加、負担金支出
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	活動指標	H27の実績	・伝統的建造物群保存地区保存会(11団体)	・高山祭屋台管理(1団体)	目標値	56	56	56	56	56	
			・からくり屋台管理技術伝承保存(1団体)	・高山祭屋台保存技術後継者育成(1団体)	実績値	56	-	-	-	-	-
		・伝承芸能保存団体(20団体)	・市指定文化財管理(2団体)	算出根拠等	達成率(%)	100	-	-	-	-	-
		・史跡保存団体(12団体)	・国指定文化財管理(8団体)	目標値							
		実績値									
		算出根拠等	達成率(%)								
	成果指標	目標値	実績値								
			算出根拠等	達成率(%)							
		目標値									
		実績値									
		算出根拠等	達成率(%)								
		目標値									
実績値											
算出根拠等	達成率(%)										

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・国等の補助金を活用して、保存団体の積極的な文化財保護活動を支援していけるよう検討する
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・国等の補助金の活用により活動の充実を図れるよう、情報提供を行っている	
次年度の担当課の考え	○ 維持・改善	・保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 6,136	7,158	8,677	9,060
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 67	79	96	101
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・文化財の保護団体に対する支援を実施	要求のポイント	・地域文化継承への支援 ・伝承芸能保存団体等に対する助成	事業実施の課題	・保存会の高齢化及び人材の確保
------	--------------------	---------	---------------------------------	---------	-----------------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	8,677	9,060	383	8,872	8,872	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	86	86	0	87	87		
一般財源	8,591	8,974	383	8,785	8,785		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94725	指定文化財保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費	個別分野	5	歴史文化	実施計画事業	指定文化財保存修理事業	
担当課		教育委員会事務局 文化財課	内線	項	4	社会教育費	施策の概要	1	文化財などの保存・継承	H29実施計画額	10,000 千円	
			2355	目	7	文化財費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、文化財保存団体	どうしたいのか(意図)	・国・県・市指定文化財を保護し次代に伝える	概要	事業の実施手法(手段)	・修理希望のあった指定文化財について助成を行う
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>国指定文化財 照蓮寺本堂</li> <li>県指定文化財 東照宮本殿、荒城神社釘打獅子舞</li> <li>市指定文化財 飯山寺弁財天社、一色白山神社拝殿、飯山寺観音堂、角正、二本櫓、岩舟の滝お堂</li> </ul>									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		補助件数		件	目標値	3	7	4	4	4
		実績値			9	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	300	-	-	-	-
		目標値								
		実績値								
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
		目標値								
		実績値								
		算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
		目標値								
		実績値								
成果指標	修理件数		件	目標値	3	7	4	4	4	
	実績値			9	-	-	-	-		
	算出根拠等			達成率(%)	300	-	-	-	-	
	目標値									
	実績値									
	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-	

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・日常の維持管理と防災対策に対する啓発
-----------------	---------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・修理を実施する際、設計士を入れた関係者との協議や、文化財審議会での協議を行い、適正な修理が行われるよう対応している。
次年度の担当課の考え	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善
	<input type="radio"/> 拡大
	<input type="radio"/> 縮小
	<input type="radio"/> 廃止検討

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 18,744	20,562	12,000	8,616
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 205	226	133	96
	受益者	(B) 91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・市指定文化財の保存修理補助	要求のポイント	・指定文化財の存続のための保存修理	事業実施の課題	・国・県などと歩調を合わせていく必要がある ・所有者の経済状況により必要な修理ができない場合がある
------	----------------	---------	-------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	12,000	8,616	△ 3,384	8,800	8,800	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	800		△ 800				
その他			0				
一般財源	11,200	8,616	△ 2,584	8,800	8,800		

## 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94730	世界文化遺産登録推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費	個別分野	5	歴史文化	実施計画事業	世界文化遺産登録推進事業	
担当課		教育委員会事務局 文化財課	内線	項	4	社会教育費	施策の概要	2	歴史・文化を活用した地域づくり	H29実施計画額	500 千円	
			2977	目	7	文化財費						

### 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・高山の町並等の世界遺産への登録 ・高山祭の屋台行事のユネスコ無形文化遺産への登録 ・歴史・文化の語り部の育成	概要	事業の実施手法(手段)	・世界文化遺産、ユネスコ無形文化遺産登録に向けての啓発活動等 ・歴史ガイドマスター等による語り部の育成
	対象者数	90,024 人					

### 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・郷土の歴史・文化の語り部を養成する講座を開催 ・提案地区内で各種会合の際に、啓発活動を積極的に実施							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		まちの博物館ボランティアガイド養成講座開催回数	回	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	13	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	325	-	-	-	-
		歴史ガイドマスター養成講座開催回数	回	目標値	6	6	6	6	6
				実績値	0	-	-	-	-
	成果指標	啓発件数	件	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-
		まちの博物館ボランティアガイド養成講座受講者数	人	目標値	250	250	250	250	250
				実績値	333	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	133	-	-	-	-
成果指標	歴史ガイドマスター認定者数(累計)	人	目標値	-	5	10	15	20	
			実績値	-	-	-	-	-	
	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	
成果指標	世界(有形・無形)文化遺産の登録件数	件	目標値	2	2	2	2	2	
			実績値	0	-	-	-	-	
	算出根拠等		達成率(%)	0	-	-	-	-	

### 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・世界遺産登録を目指すために、文化庁との連携を密にし、課題解決に臨む。 ・郷土の歴史・文化の語り部の育成は、継続して行い、幅広い人々に啓発する必要がある。
-----------------	--

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・世界文化遺産、ユネスコ無形文化遺産の登録に向けて、文化庁との連携を密にする。 ・郷土の歴史・文化の語り部を増やす取り組みを行い、スキルアップのため専門の講座を開催する。	
課の考え方の担当	○ 維持・改善	
	拡大	・世界文化遺産登録に向けて、啓発活動等を積極的に行う。 ・無形文化遺産の啓発により伝統文化についての意識向上を図る。
	縮小	・郷土の歴史・文化の語り部を増やす取り組みを行い、スキルアップのため専門の講座を開催する。
	廃止検討	

### コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	96	455	500	20,505
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1	5	6	228
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

### 5 予算編成(Action2)

事業内容	・世界文化遺産登録に向けての啓発活動 ・ユネスコ無形文化遺産登録(予定)の記念事業(屋台総曳き揃え等) ・語り部の育成	要求のポイント	・歴史ガイドマスターの養成 ・ユネスコ無形文化遺産登録(予定)の記念事業(屋台総曳き揃え等)の実施	事業実施の課題	・地域の文化資源の保存活用のため、市民への啓発や自ら保存活用に取り組む人材を育成する必要がある ・子どもたちが、郷土の歴史や文化を理解、継承するための環境づくりが必要である
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	500	20,505	20,005	20,500	20,500	・積算内容を精査 ・ユネスコ無形文化遺産登録記念事業に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	200		△ 200	5,700	5,700		
一般財源	300	20,505	20,205	14,800	14,800		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94750	伝統的建造物群保存地区保存事業費	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
			款	9	教育費	個別分野	5	歴史文化	実施計画事業	伝統的建造物群保存地区保存事業	
担当課		教育委員会事務局 文化財課	項	4	社会教育費	施策の概要	1	文化財などの保存・継承	H29実施計画額	40,000 千円	
		内線	目	7	文化財費						
		2355									

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、観光客	どうしたいのか(意図)	・伝建地区内における伝建物の保存整備及び非伝建物の景観復元を行い、伝統的な景観を維持する	概要	事業の実施手法(手段)	・伝建地区内における伝建物の修理及び非伝建物の修景事業に対する補助等
	対象者数	4,431,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	修理、修景9件										
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		修理修景数事業への補助件数		件	目標値	9	7	7	7	7	7
		実績値			9	-	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-	-
					目標値						
					実績値		-	-	-	-	-
	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-	-	
	成果指標	修理修景件数		件	目標値	9	7	5	5	5	
		実績値			9	-	-	-	-	-	
		算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-	
					目標値						
					実績値		-	-	-	-	
算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-			

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・コストなどの縮減に努め、効率的に事業を実施する必要がある。県費補助金の復活。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・コスト縮減の視点から、修理家屋等それぞれの設計書の点検や見直しなどを行っている。 ・保存会の総会等に参加し、意見交換を行っている。	
次年度の担当課の考え	○ 維持・改善	
	拡大	・保存計画に基づき、今後も継続して実施する。
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 40,186	40,345	40,500	40,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 10	10	9	9
	受益者	(B) 4,116,605	4,115,938	4,431,024	4,431,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・重要伝統的建造物群保存地区「高山市三町」「下二之町大新町」の保存修理(地区内建物の修理修景事業に対する補助及び工事設計監理等)	要求のポイント	・歴史的町並保存の推進 ・伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成	事業実施の課題	・伝建地区内の特定物件の追加 ・建築基準法緩和に関する調査 ・年度途中における突発的な案件への対応
------	--	---------	---------------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	40,500	40,500	0	40,500	40,500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	20,000	20,000	0	20,000	20,000		
県支出金			0				
一般財源	20,500	20,500	0	20,500	20,500		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94755	伝統的建造物群保存地区防災対策事業費	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
			款	9	教育費	個別分野	5	歴史文化	実施計画事業	伝統的建造物群保存地区防災対策事業	
担当課		教育委員会事務局 文化財課	項	4	社会教育費	施策の概要	1	文化財などの保存・継承	H29実施計画額	40,000 千円	
			目	7	文化財費						
			内線		2354						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、観光客	どうしたいのか(意図)	・伝建地区を災害に強い町並とするために、伝建地区の土蔵の修理や防災設備の整備を継続して実施し、防火能力の向上を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・伝建地区内の土蔵等修理事業に対する補助、防災設備の整備等
	対象者数	4,431,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	土蔵修理4件									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		土蔵等修理事業への補助件数		件	目標値	6	5	5	5	5
		実績値			4	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	67	-	-	-	-
		目標値			実績値		-	-	-	-
		実績値			達成率(%)	-	-	-	-	-
	成果指標	土蔵等修理件数		件	目標値	6	5	5	5	5
		実績値			4	-	-	-	-	
		算出根拠等			達成率(%)	67	-	-	-	
		目標値			実績値		-	-	-	
		実績値			達成率(%)	-	-	-	-	
		算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地元との入念な打ち合わせを行いながら、事業を推進する必要がある。
-----------------	-----------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・防災計画に基づき、地元と連携して事業を実施する。	
次年度の担当課の考え方	○ 維持・改善	・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	27,541	25,324	40,000	40,102
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	7	6	9	9
	受益者	市民、観光客	(B)	4,116,605	4,115,938	4,431,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・伝統的建造物群保存地区「高山市三町」「高山市下二之町大新町」内の土蔵修理等防災対策に対する助成	要求のポイント	・歴史的町並み保存の推進 ・伝統的建造物群保存地区防災対策に対する助成	事業実施の課題
------	--	---------	--	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	40,000	40,102	102	40,110	40,110	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	20,000	20,000	0	20,000	20,000		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	20,000	20,102	102	20,110	20,110		

## 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94760	歴史遺産等保存活用事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費		個別分野	5			
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	項	4	社会教育費	施策の概要	2	歴史・文化を活用した地域づくり	実施計画事業	歴史遺産等保存活用事業	4,300 千円
				目	7	文化財費				H29実施計画額		
			2355									

### 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史文化遺産の活用や歴史街道の整備等により、郷土の歴史や文化を次代に伝える</li> <li>文化財指定されていない文化遺産や郷土の歴史文化などの保存、継承を支援するための制度を創設する</li> <li>記念物を良好な状態で保存管理するための環境を整備する</li> <li>美しいふるさと認証制度による郷土愛の醸成や保護活動の促進</li> </ul>	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史街道の調査・整備を行う</li> <li>伝統的建造物及びその周辺環境や無形文化遺産の調査、記録を行う</li> <li>ふるさと伝承記録として、伝承芸能等の映像記録を作成する</li> <li>天然記念物や史跡等の保存環境の整備を行う</li> <li>文化財標柱・説明看板等を整備する・美しいふるさと認証制度</li> </ul>
	対象者数	90,024 人					

### 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>既設文化財説明看板の更新及び多言語化を実施</li> <li>位山街道現況測量調査</li> <li>信州街道石柱等設置</li> <li>美しいふるさと認証20団体</li> </ul>								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		説明看板等設置数		箇所	目標値	5	3	3	3	3
		算出根拠等			実績値	3	-	-	-	-
		測定・整備箇所		箇所	目標値	1	1	1	1	1
		算出根拠等			実績値	3	-	-	-	-
		達成率(%)			300	-	-	-	-	-
	伝承記録作成件数		件	目標値	1	1	1	1	1	
	算出根拠等			実績値	1	-	-	-	-	
	達成率(%)			100	-	-	-	-	-	
	美しいふるさと認証団体数(累計)		件	目標値	90	110	130	140	150	
	算出根拠等			実績値	90	-	-	-	-	
	達成率(%)			100	-	-	-	-	-	

### 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域からの要望も取り入れ、また活用方法についても検討していく。</li> <li>文化財標柱設置に係るコストの縮減</li> <li>ふるさと伝承記録や美しいふるさと認証は継続して行う必要がある。</li> </ul>
-----------------	--

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>一本当たりの単価を抑えるため、一括で入れを行う。</li> <li>説明看板等の多言語化を進める。・各地域住民との連携を図る。</li> <li>歴史街道を整備し、地域振興としての活用を図る。</li> <li>伝承記録として残す。・美しいふるさと認証団体の募集と認証を行う。</li> </ul>	
課の考え方の担当	維持・改善	
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を全市的に行っていく。</li> <li>歴史街道整備については、今後も計画的に実施する。</li> </ul>
	縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きふるさと伝承記録として、地域の貴重な無形民俗文化財等の伝承記録を作成する。</li> <li>引き続き美しいふるさと認証団体の募集と認証を行う。</li> </ul>
	廃止検討	

### コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	10,139	2,131	5,840	4,537
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2	23	65	50
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024

### 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと伝承記録制作委託</li> <li>天然記念物や史跡等の維持管理や保存環境の整備</li> <li>文化財標識等の作成設置及び既存看板の修繕、多言語化</li> <li>美しいふるさと認証</li> <li>木造建築物耐震化マニュアルの事例報告会開催</li> <li>日本遺産の保存活用</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統文化や文化財等の調査・記録による保存・継承と活用</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民、各保存会などと連携し事業を進めることが必要である</li> </ul>
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,840	4,537	△ 1,303	11,080	11,080	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>無形文化遺産・日本遺産活用事業に要する経費を計上</li> </ul>	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		500	500	250	250		
	県支出金			0				
	その他	90		△ 90	2,100	2,100		
	一般財源	5,730	4,037	△ 1,693	8,730	8,730		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94770	高山祭屋台保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費	個別分野	5	歴史文化	実施計画事業	高山祭屋台保存修理事業	
担当課		教育委員会事務局 文化財課	内線	項	4	社会教育費	施策の概要	1	文化財などの保存・継承	H29実施計画額	40,000 千円	
			2355	目	7	文化財費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、屋台組	どうしたいのか(意図)	・江戸時代から続く日本有数の祭の一つとして数えられる高山祭の宝として、後世に残していく。	概要	事業の実施手法(手段)	・緊急に修理が必要なことから、順次修理を行う。
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日枝神楽台、金鳳台 修理</li> <li>・能神台蔵、鳩峯車蔵、麒麟台蔵 修理</li> </ul>							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		屋台・屋台蔵の修理件数	件	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	5	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	125	-	-	-	-
				目標値					
				実績値		-	-	-	-
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-
				目標値					
				実績値		-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-
				目標値					
				実績値		-	-	-	-
成果指標	祭及び屋台曳き揃え等の回数	回	目標値	2	2	2	2	2	
			実績値	2	-	-	-	-	
	算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-	
			目標値						
			実績値		-	-	-	-	
	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。 ・技術保有者を認定し、修理を実施していくことで伝統構法や技術の継承などにも寄与している。	
次年度の担当課の考え	○維持・改善	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 36,027	36,775	40,000	38,367
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 393	404	444	426
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台、屋台蔵の保存修理 ・年次計画に基づく全屋台(23台)の修理 ・屋台収蔵施設である屋台蔵の修理、防災対策	要求のポイント	・国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台及び屋台蔵の計画的な保存修理の実施 ・屋台修理技術等の伝承	事業実施の課題	・原材料等の高騰によるコストの増加 ・伝統的な原材料の希少性による不足
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	40,000	38,367	△ 1,633	40,000	40,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	20,000	19,183	△ 817	20,000	20,000		
県支出金			0				
その他	10,500	3,836	△ 6,664	8,500	8,500		
一般財源	9,500	15,348	5,848	11,500	11,500		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94780	市史編纂事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費	個別分野	5	歴史文化	実施計画事業	市史編纂事業	
担当課		教育委員会事務局 文化財課	内線	項	4	社会教育費	施策の概要	1	文化財などの保存・継承	H29実施計画額	10,000 千円	
			2356	目	7	文化財費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・郷土の歴史を次代に伝える	概要	事業の実施手法(手段)	・高山市史の編纂、刊行 ・編纂調査成果の公開、活用
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本編として「先史時代から古代編」を発刊した</li> <li>・街道に関する講演会を開催し、市民への関心を高めた</li> </ul>								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		刊行がなされた市史等の巻数		巻	目標値	1	1	1	1	1
		算出根拠等			実績値	1	-	-	-	-
		達成率(%)			100	-	-	-	-	-
		作製した冊数		冊	目標値	300	300	300	300	300
		算出根拠等			実績値	300	-	-	-	-
	成果指標	達成率(%)			100	-	-	-	-	
		目標値								
		実績値								
		達成率(%)								
		目標値								
		実績値								
達成率(%)										
目標値										
実績値										
達成率(%)										

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・様々な機会をとらえて、市史等の情報を提供し、より多くの受益者が歴史や文化に触れるようにする必要がある。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市史に関する講演会や講座を開催し、市民への関心を高める。</li> <li>・ホームページでも公開し、教育や観光振興に活用できるようにする。</li> </ul>	
次年度の担当の考え	○ 維持・改善	
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「近世前半編」を発刊予定。</li> <li>・市史に関する講演会や講座を開催し、市民への関心を高める。</li> </ul>
	縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページでも公開し、教育や観光振興に活用できるよう配慮する。</li> </ul>
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 9,428	8,880	9,934	10,988
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 103	98	110	122
	受益者	市民(4月1日現在)	(B) 91,605	90,938	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市史「近世後半」の発刊</li> <li>・市史編纂に関する歴史資料の購入及び調査・研究</li> </ul>	要求のポイント	・高山市史の編纂、刊行	事業実施の課題	・長期的な事業となるため、計画的な実施と効率的な事務の推進が必要
------	---	---------	-------------	---------	----------------------------------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,934	10,988	1,054	9,934	9,934	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	500	500	0	500	500		
	一般財源	9,434	10,488	1,054	9,434	9,434		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94800	飛騨高山まちの博物館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費	個別分野	5	歴史文化	実施計画事業	飛騨高山まちの博物館管理事業	
担当課		教育委員会事務局 文化財課	内線	項	4	社会教育費	施策の概要	3	歴史・文化に親しみ理解する機会の充実	H29実施計画額	29,000 千円	
			2977	目	8	文化財施設費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、観光客	どうしたいのか(意図)	・市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成を図る ・観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらい、リピーターを増やす	概要	事業の実施手法(手段)	・城下町高山を中心とした歴史文化について資料収集、調査研究、展示、教育普及などの活動をおこなう
	対象者数	4,431,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展・企画展を開催</li> <li>・歴史講座、体験教室等を開催</li> </ul>							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		展示回数(特別展・企画展・常設見直し数等)	回	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	8	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	160	-	-	-	-
		歴史講座・各種教室等の開催数	回	目標値	6	6	6	6	6
				実績値	23	-	-	-	-
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	383	-	-	-	-
				目標値					
				実績値					
		算出根拠等		達成率(%)					
		来館者数	人	目標値	197,000	204,000	211,000	218,000	225,000
				実績値	180,362	-	-	-	-
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	92	-	-	-	-	
	研修室利用者数	人	目標値	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	
			実績値	7,605	-	-	-	-	
	算出根拠等	365日×20人	達成率(%)	104	-	-	-	-	
	閲覧室利用者	人	目標値	365	365	365	365	365	
			実績値	1,865	-	-	-	-	
算出根拠等	365日×1人	達成率(%)	511	-	-	-	-		

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・館内の解説については、子どもや高山の歴史について基礎知識のない方、並びに外国人にも分かりやすく計画的に見直す必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城下町高山と金森氏について、より分かり易い常設展示のリニューアルを実施する。</li> <li>・他館の展示招聘や他事業との連携により、幅広い世代と来館者に対応できる企画を実施する。</li> <li>・養成講座により、博物館ボランティアガイドの育成を図り、学習成果を発揮する機会を提供する。</li> </ul>	
次年度の考え(担当)	○ 維持・改善	
	拡大	・館内の案内表示を増やしたり、計画的に常設展示のリニューアルを図ることで、見やすく分かり易い学習環境を整備する。 ・児童生徒向けのワークシート等を作成し、学校での郷土学習や自主学習の支援を図る。
	縮小	・他の博物館や自治体、文化団体などとの連携による展示事業を開催し、幅広い分野での学習機会を提供する。
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	27,186	26,690	26,113	30,471
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	7	6	6	7
	受益者	市民、観光客	(B)	4,116,605	4,115,938	4,431,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・飛騨高山まちの博物館の管理と運営	要求のポイント	・特別展の開催 ・未来の高山を担う子ども達のための教育普及活動の充実	事業実施の課題	・資料の増加による収蔵スペースの確保、保管体制の充実 ・子どもに分かり易く、観光客や外国人が高山の歴史・文化を理解することが出来る展示の充実
------	-------------------	---------	---------------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	26,113	30,471	4,358	26,893	26,893	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金		400	400	200	200		
県支出金			0				
その他	45	40	△5	45	45		
一般財源	26,068	30,031	3,963	26,648	26,648		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94810	文化財施設管理事業費	予算	会計	1 一般会計	基本分野	3 教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9 教育費	個別分野	5 歴史文化	実施計画事業	文化財施設管理事業	
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4 社会教育費	施策の概要	3 歴史・文化に親しみ理解する機会の充実	H29実施計画額	53,000 千円	
			2354	目	8 文化施設費					

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の歴史に対して、興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、郷土の歴史を次代に伝える</li> <li>収蔵施設での文化財や歴史資料等の適正な保存・管理</li> <li>発掘調査等出土品の整理・調査研究や考古学関係の講座・学習会等の開催により、郷土の歴史に対する理解を深める</li> <li>市有文化財施設等の安全・安心な利用を図る</li> </ul>	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理による文化財施設の運営</li> <li>文化財収蔵施設等の維持管理</li> <li>風土記の丘学習センター等の管理運営</li> </ul>
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績		・指定管理施設7施設(29,947千円)など								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		開館日数		日	目標値	365	365	365	365	365
		算出根拠等			実績値	365	-	-	-	-
					達成率(%)	100	-	-	-	-
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
				達成率(%)		-	-	-	-	
				目標値						
				実績値		-	-	-	-	
				達成率(%)		-	-	-	-	
				目標値						
				実績値		-	-	-	-	
			達成率(%)		-	-	-	-		
成果指標	入館者数		人	目標値	107,200	107,200	107,200	107,200	107,200	
	算出根拠等			実績値	236,133	-	-	-	-	
				達成率(%)	220	-	-	-	-	
				目標値						
				実績値		-	-	-	-	
				達成率(%)		-	-	-	-	

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・保存していくだけでなく、活用についても検討が必要。
-----------------	----------------------------

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・事業の充実、パンフレットの作成、展示の見直し等文化財施設としての活用の充実を図る。	
次年度の担当課の考え	○ 維持・改善	
	拡大	・施設の機能強化や展示等の充実を図り、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。
	縮小	・ランニングコストの低減に努める。
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 49,060	46,958	49,999	55,548
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 536	516	555	617
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理による文化財施設の運営</li> <li>文化財収蔵施設等の維持管理</li> <li>風土記の丘学習センター等の管理運営</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理施設をはじめ、文化財施設の事業の充実</li> <li>風土記の丘学習センターの体験教室の充実</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化による修繕の増加</li> <li>入館者数の増加に向けた取り組み</li> </ul>
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		49,999	55,548	5,549	51,769	51,769	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	194	194	0	194	194		
	一般財源	49,805	55,354	5,549	51,575	51,575		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	94820	伝統文化交流拠点施設整備事業費	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画、歴史的風致維持向上計画	市長公約 市内観光及び広域観光の交通発着点であり、地産地消や高山の文化なども体験できる拠点空間(観光ハブ拠点)の形成に努めます。地産地消が体験できる拠点空間(施設)の整備に努めます。
			款	9	教育費	個別分野	5	歴史文化	実施計画事業	伝統文化交流拠点施設整備事業	
担当課		教育委員会事務局 文化財課	項	4	社会教育費	施策の概要	2	歴史・文化を活用した地域づくり	H29実施計画額	0 千円	
		内線 2354	目	8	文化財施設費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、観光客	どうしたいのか(意図)	・旧森邸を整備し、歴史的風致維持向上に向けての拠点施設として整備する	概要	事業の実施手法(手段)	・旧森邸(旧図書館含む)等を、まちの博物館と一体的に活用するための施設として整備をする
	対象者数	4,431,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	活動指標	H27の実績	・現況測量 ・旧図書館等の解体工事						
		指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		対象建物等の整備数(解体含む)	件	目標値	2	0	3	-	-
				実績値	2	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-
				目標値					
	成果指標			実績値					
		算出根拠等		達成率(%)					
				目標値					
				実績値					
		算出根拠等		達成率(%)					
				目標値					
		実績値							
	算出根拠等		達成率(%)						
		目標値							
		実績値							
	算出根拠等		達成率(%)						

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・整備後の施設の運営方針等の検討。
-----------------	-------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・整備後の活用について、具体的な検討を進める。	
次年度の担当 課の考え 方	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	
	<input type="radio"/> 拡大	・整備工事の実施。 ・整備後の運営体制等の検討。
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	97,171	20,240	276,139
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	24	5	62
	受益者	市民、観光客	(B)	91,605	4,115,938	4,431,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・歴史的風致の維持向上に向けた、拠点施設の整備	要求のポイント	・伝統文化交流拠点施設(旧森邸等)の整備にかかる経費を計上	事業実施の課題
------	-------------------------	---------	-------------------------------	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	20,240	276,139	255,899	276,070	276,070	・積算内容を精査 ・伝統文化交流拠点施設整備に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	8,100	112,390	104,290	115,200	115,200		
県支出金			0				
その他			0	44,742	44,742		
一般財源	12,140	163,749	151,609	116,128	116,128		